

寿楽苑だより

—— 128号 ——

豆まきで鬼退治

2月3日小ホールで、入居者様の無病息災を願つて、豆まきを行いました。

小ホールへ現れたのが、赤鬼2人と青鬼の計3人。そして、福の神です。

鬼の姿を目にした入居者様は、驚いた表情で「わあ。びっくりした」。

「見つしゃい。あこに、鬼きたよ」と指さしながら、大きな声で隣の入居者様に教える方も。

「かわいらしい鬼もあるけど、でかい鬼もあるぞ」「長い金棒持つとあるから、気つけっしゃい」「あれで叩かれたら、痛いよ」



入居者様が手にしていたのは、豆ではなく紅白などのお手玉。そのお手玉を、声を合わせて「鬼は、そと。福は、うち」と、ぶつけて鬼退治が始まります。
「こら鬼、こっち来るな」
「鬼め、あっち行ってしまえ」
「豆、かつけるぞ」

実は入居者様、事前にお手玉を鬼にぶつける練習済み。その成果が出て、何個もお手玉をぶつけられた鬼たちは、床に倒れて「参った参った。降参」。

鬼が退散した後、入居者様は笑顔で「鬼も退治できましたし、今年は、なんかいいことがありそうやね」。

喜楽苑で節分祭

2月3日喜楽苑の広場3カ所で、節分祭を行いました。赤鬼と青鬼の3人が登場。それを見つけた入居者様が、「鬼はーそと。福はーうち」と元気よく、豆に見立てたボールを投げます。

なかには、鬼が持っていた金棒を取り上げ、金棒を振り回し鬼退治する入居者様も。それにはさすがの鬼も、「もう、止めて」と慌てて退散です。

その後、年女の福の神からもらった恵方巻きを、今年の方角といわれる東北東を向き、笑顔でほあほあする入居者様。入居者様に福が訪れるようにとの、願いを込めた節分祭でした。



社会福祉法人 舟見寿楽苑
発行責任者/施設長 高村 敏明

〒938-0103 富山県下新川郡入善町舟見1664
TEL 0765-78-1935 / FAX 0765-78-1941
e-mail : jurak273@funamijurakuen.jp
http://www.funamijurakuen.jp

舟見寿楽苑

検索

発行/令和 6年 3月 20日

ひばり里苑



取り上げた金棒で鬼退治

2月3日、ユニット広場へ「うおー。鬼やぞー」と、大声を上げながらやって来たのが、赤鬼と青鬼。

鬼たちは、金棒を振り上げ、入居者様を威嚇です。

すると、入居者様は新聞紙を丸めて作った大きな豆をぶつけ、大きな声で「鬼は、そと。福は、うちー」。

ぶつけられた鬼たちは、頭を抱え「アイタタタ。やめてくれ」。入居者様が鬼の金棒を取り上げ逆襲が始まると、たまらず「もう、しません。勘弁してください」。

それを聞いた入居者様は、思わずニッコリ。



カラオケ喫茶



2月23日、おいつる広場で、カラオケ喫茶を開店しました。「今から、カラオケやるがいと」と、入居者様が集まって来ます。

1曲目は、誰もが知っている唱歌「春の小川」からスタート。途中、ノンアルコールビールと、よもぎパンなどを、あやつ休憩でいただき、カラオケは続きます。

リクエストが多い美空ひばりの曲は、「真っ赤な太陽」。最高得点は、「瀬戸の花嫁」の92点で、元気いっぱいの歌声が会場中に響いていました。

デイサービス



初めてのパズル

3月1日から、入浴後の余暇時間を利用して、パズルを行いました。

入居者様、今回初めてパズルに挑戦する方が、ほとんどです。

「難しいから、頭フル回転せにやならんわ」

「頭の中についたサビ、落ちよか」

弱気な声も聞こえていたのですが、完成すると。

「まいこと、出来た出来た」

笑顔で、「出来たら、こんなに嬉しいがや」。



流しひなりレー



3月4日から、ひな祭りにちなんで、広場でクイズと流しひなりレーを開催しました。

流しひなりレーは、2チームに分かれて行います。

うちわを使い、バランスを取りながら、次の利用者様へ、お雛様等を渡していくゲームです。スピードも大事ですが、落とすと大幅な時間のロスに。

「慌てんと、やらにや」

「ゆっくりでいいが。落とされんよ」

「あーあ、やった。やから、言うたがに」

喜 樂 莘



百歳お祝い会

3月11日コミュニティルームで、梨木きみ様の百歳お祝い会を開催しました。

高村施設長の挨拶に続き、笠島入善町長からお祝い状と記念品等が贈呈。

次に、町社協会長、舟見地区社協会長からお祝いの品が贈られました。

そして、喜楽苑、ご家族様などからの花束やお祝い品などの贈呈に続き、お孫様があ祝いの手紙を朗読。それを聞いた、梨木様の笑顔がはじけます。



笠島町長による祝辞の後、職員による三味線ショーが開演。「コキリコ節」「越中あわら節」など生演奏の三味線と歌、踊りが披露され、参列した方々から、大きな拍手が送られていました。

その後、「ツツショイ、ツツショイ」と喜楽苑特製のお神輿がやって来て、「梨木様、百歳おめでとうございます」。続いて、くす玉を割って、万歳三唱です。

「こんなに長生きし、みんなにお祝いしてもらって、嬉しいわ。ありがとう」と、笑顔の梨木様でした。

行 事 等



職員等対象にE式研修会

2月6日から15日にかけて、一般職員等と役職者を対象に、5回に渡ってE式研修会を開催しました。

金沢サプライの林博之講師が、一般職員等には、「仕事の改善、創意工夫」について講義。

また、役職者には、「役職者に期待される役割」と題しての講義です。

講義の後ブレインストーミングに移り、日頃感じている、ムダ、ムラ、ムリについて個々に発表が行われるなど、職員参加型の充実した研修会になりました。



デイサービス通路で桜見物



2月中旬から、デイサービス通路に、桜の壁飾りが飾られています。デイサービス利用者様の協力を得て、職員と一緒に作り上げたもの。

最初に色紙を切り始めてから、台紙に貼り終えるまで、1か月ほど要した力作です。

通路に飾られた桜を、目にした利用者様。

「ここだけ、もう桜が満開やぜ」

「花を切るが大変やったけど、いいがになった」

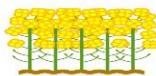
「この桜見たら、はよなと本物見たなつたわ」

まごころ善意

令和6年1月18日～令和6年3月17日
(順不同・敬称略)

寄付物品

- ・米澤 一博 ・土居 久哲 ・野島医院(野島全生)
- ・金田 雅晴 ・匿名



ご家族様・関係する皆様への お知らせ

令和6年度、各種慰問とボランティアの受け入れ等につきましては、令和5年度同様一部を除き、中止とさせていただきますので、お知らせ致します。

ひな飾り



3月3日の桃の節句にあわせて、舟見寿楽苑、ひばり野苑、喜楽苑の広場などに、ひな人形が飾されました。ひな人形の前を通りかかった入居者様、利用者様は、足を止めて「きれいな、おひな様やね」。そして、「これなら、何時間でも見とられるわ。今時、こんながちゃ、なかなか見られんもん」。

新入職員紹介



2月1日付けで、舟見寿楽苑のデイサービスで勤務することになりました、戸出雄也です。

以前は、違う職種の仕事をしていて、介護老人福祉施設での勤務は初めてになります。

以前から、介護に興味を持っていましたので、少しでも早く仕事を覚え、皆様のお役に立てるよう頑張って参りますので、どうかよろしくお願ひ致します。



3月1日から、舟見寿楽苑で働くことになりました藤井美幸です。

これまで、調理員としての経験は少ないため、周りの皆様に、いろいろとご迷惑をおかけすることがあるかと思います。

しかし、一日でも早く職場に慣れ、仕事を覚えるよう頑張っていくつもりですので、ご指導くださいますよう、なにとぞよろしくお願ひ致します。

編集後記

散歩に出かけたとき、真新しい自転車に乗った高齢の男性が、立ちこぎしながらこちらへやってくるのと出会いました。あの男性、以前は、少々古い緑色の自転車に乗っていた覚えが。「立ちこぎって力いるがに、ようできるわ」。すると、連れが「年取っても、新しい自転車買って元気に乗ろうという、その気持ちやね」。

途中道路横にある建物の玄関が掃除してあるのに気づいた連れが「玄関みたら、家の中がどんながになつとるか分かるよ。それに、玄関汚いと神様入って来んて言うし」。言われて見ると、その玄関はピカピカ。

年だから、などという人がいるけど、実年齢と体内・精神年齢等は人によって違うもの。いくつになっても、新しいことに挑戦する気持ちがあれば、まだまだ捨てたものではないはず。まずは、これまで人任せでやつたこともない、連れが喜ぶ我が家の玄関の掃除手伝いなどをして、点数を上げることから始めようか。

寄付金

- ・土居 久哲 ・金田 雅晴

ひばり野小学校
よみよみ放送委員会

